



農業高校 都市園芸科紹介

キテキテ府中
校外販売風景



都市園芸科には約 25000 m²の農場があります。そこでは様々な野菜、草花、果樹を栽培しています。

都市園芸科の魅力

- ・ 色々な野菜・草花・果樹の栽培方法を学ぶことができます。
- ・ 植物の栽培を通じて自然と生命について実感できます。
- ・ やりたい研究を実践できます。

都市園芸科は、どんな勉強をしているの？



草花・・・鉢で育てる草花(ラン、プリムラなど)や、花壇に植えつける草花(マリーゴールド、パンジーなど)、観葉植物など、私たちが観賞するための様々な植物を栽培します。栽培した草花は、たくさんの人に見ていただける様に花壇などに利用します。

野菜・・・キャベツ、ハクサイ、ダイコン、ニンジン、トマト、ナス、キュウリなど私たちが日ごろ口にする様々な野菜を栽培してします。また水耕温室でのトマトの栽培も行っています。

果樹・・・ブドウ、ナシ、カキを主に栽培しています。ウメ、モモ、カンキツ、ピワ等の果樹があり、その栽培と利用について学習しています。温室ではコーヒー、バナナなどの熱帯果樹もあります。収穫後、糖度の測定、果実の風味と食感を食べ比べます。



その他・・・植物バイオテクノロジーやフラワーアレンジメント、パソコンを使用したプレゼンテーション等、興味深い授業があります。また、東京農工大学との高大連携授業、希望者には農業機械講習、農家や花店でのインターンシップを行っています。



都市園芸科の行事

- ① 校外見学・・・園芸施設や植物園を見学し、園芸に関する知識を深めます。
- ② 神代農場実習・・・神代農場では、わき水を利用した、ニジマスの養殖とワサビの栽培、もち米の栽培など行っています。冬には収穫したもち米で餅つきを行います。
- ③ 文化祭での展示販売・・・11月初めの文化祭(農高祭)では、野菜・果物・草花の販売を行います。また、科の特徴を生かした展示・装飾を行います。
- ④ 夏休み実習・・・5日間程度の実習を行います。1年生では、農業実習の他に東京農工大学との連携授業も行います。

専攻制(学びたいことをより深く)

興味関心のあることを、より専門的に学ぶため3年生から専攻にわかれれます。

野菜応用 ・ 果樹応用 ・ 草花応用 ・ フラワーデザイン

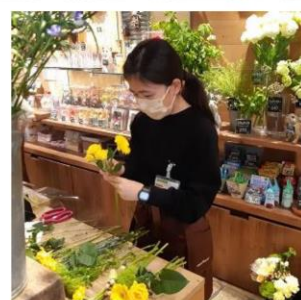
大学との連携授業



課題解決力を伸ばします

1年「農業と環境」→2年「課題研究」→3年「課題研究」の授業では、下記の①～④の過程を行うプロジェクト学習を行います。

- ① 課題の設定(例、〇〇の栽培調査) ② 計画(栽培計画と調査計画)
 - ③ 実施(栽培・実験・調査)
 - ④ 反省・評価(実施結果を分析・考察し、発表を行い、反省・評価をする)
- プロジェクト学習を通して、自分の力で課題を解決する能力を伸ばします。



花店でのインターンシップ